

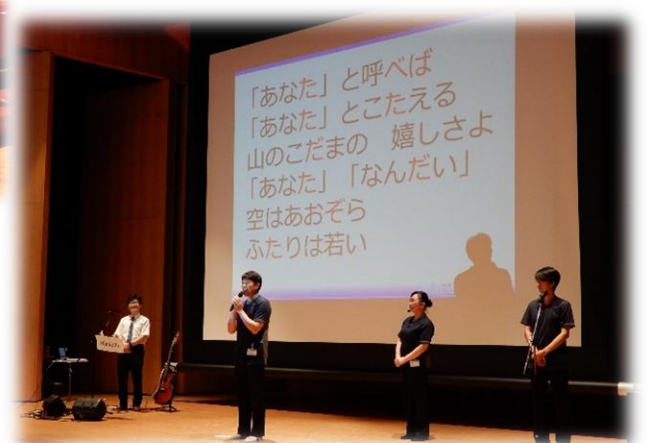
東峰村社協だより

第113号
令和7年9月15日号
東峰村社会福祉協議会
事務局（喜楽来館内）
☎ 0946-74-2012



講演後には、三野原病院リハビリスタッフによる「コグニサイズ運動（認知機能と運動を組み合わせた体操）」を実際に体験していただきました。

リズムに合わせて歌いながら動くことの難しさに、思わず笑いがこぼれる場面も多くみられ、楽しく取り組みながら、認知症予防の大切さを身近に感じられる充実した時間となりました。



コグニサイズの例

- ・足踏みしながら3の倍数だけ声に出す
- ・歩きながらしりとり
- ・スクワットのたびに赤・青・緑…と色を言う など

東峰村シニアクラブ連合会 全体研修会の開催

令和7年8月29日、保健福祉センター「いずみ館」ホールにて、東峰村シニアクラブ連合会の全体研修会が7年ぶりに開催されました。

当日は、医療法人 浜江堂 三野原病院 院長 三野原元澄先生を講師にお迎えし、「認知症を理解し備えよう」と題した講演を行いました。

三野原先生は、ギターによる弾き語りを交えながら、文化活動やスポーツが認知症予防にどのように役立つのかを、楽しくわかりやすくご紹介くださいました。参加者の皆さんも、音楽に耳を傾けながら、笑顔で学ぶ姿が印象的でした。

講演後には、三野原病院リハビリスタッフによる「コグニサイズ運動（認知機能と運動を組み合わせた体操）」を実際に体験していただきました。

リズムに合わせて歌いながら動くことの難しさに、思わず笑いがこぼれる場面も多くみられ、楽しく取り組みながら、認知症予防の大切さを身近に感じられる充実した時間となりました。

寄付金

令和7年7月14日より令和7年9月12日までの間に、次の方々よりご寄付をいただきました。深く感謝申し上げます。

- ◎香典返し寄付
- ・竹地区 竹の下
- ・梶原 静美 様（故 修二 様）
- ・小石原南区 宝ヶ谷
- ・大里アキ子 様（故 末彦 様）
- ・大行司地区 大行司中
- ・山手 久子 様（故 敏幸 様）
- ・東福井地区 寺村
- ・熊谷 博士 様（故 武 様）
- ・東福井地区 延田の下
- ・熊谷 優一 様（故 啓一 様）



故人となりました方のご冥福をお祈りいたします。

この寄付金は、村内の社会福祉事業のために大切に活用させていただきます。

福祉サービス苦情解決事業

福祉施設・事業所や在宅等で提供される福祉サービスに関する苦情の解決を図る事業です。対象者は、現在福祉サービスを利用している方やその家族の方、契約内容を把握されている方等です。

福祉サービス利用時の苦情について、事業所と話し合いで解決しない場合は、「相談下さい。」

・問い合わせ先
福岡県運営適正化委員会 事務局
（092-9151-3511）
毎週月曜～金曜 9時～17時

社会福祉士実習生あいさつ

はじめまして。「社会福祉士」の卵の、和田倫子と申します。福岡市にある、フチガミ医療福祉専門学校で、東峰村社会福祉協議会で学ばせていただいています。東峰村に来て驚いたことは、なんといっても「和田さん」の多さです。同じ苗字の方にお会いするたびに、初対面でも、何かしら親しみを感じます。私の祖先様のなかに、東峰村とご縁のある人がいるのかもしれないですね。嬉しく思います。

東峰村は、素敵に年を重ねた方が、たくさんいらっしゃるの、「社会福祉士」としてだけでなく、「人」としても学びをもらっています。何より素敵だと思ふのは、村民の方々の「東峰村への愛情」を感じるところです。自分の暮らす村を、自然を、大切にしていなければ、東峰村のこの「美しさ」は、維持できないと思います。目の前に広がる棚田の雄大な景観、行者杉の神々しい姿、BRTがメカネ橋を渡る情景など、村民の方々が守ってきたものが、東峰村にはたくさんあります。

また、東峰村の方々の「あたたかさ」に、実習中、もう何度も救われました。先日は、来ないバスを待っている私に、道の駅のスタッフの方が、わざわざ道路まで出てきて声をかけてくださいました。ありがとうございました。買物の不便や交通に問題を抱えていても、それでもなお、助け合う「人の絆」が、生活を支えているのだと思います。

「社会福祉士」の卵として、専門職の視点をもって、東峰村の生活が「より良くなる」方法を、村民の方々と一緒に考えたいと思っています。気軽に声をかけていただければ、嬉しいです。よろしく願いいたします。



社会福祉士実習生あいさつ

はじめまして。フチガミ医療福祉専門学校の「たかつか」と申します。9月1日から10月3日までの間、東峰村社会福祉協議会に実習生としてお世話になっていきます。現在は、社会福祉士を目指して勉強しており、将来は地域福祉に携わりたいと考えています。

自然の中で過ごすことが好きで、趣味は、植物や昆虫などの生きものを観察したり、ものづくりをすることです。以前は子どもたちに自然体験活動を提供する仕事をしており、自然と人との関わりの大切さを感じてきました。

今回の実習で、東峰村に何一つのは子ども達の頃に遊びに来て以来、何十年ぶりとなります。久しぶりに訪れた村は、田んぼには金色の稲穂が実り、美しい川が流れ、山々に囲まれた風景に迎えられ、一瞬にして心を奪われました。実習初日の夜、見上げた空いっぴいに星が輝いていて、思わず「うわー」と声をあげてしまったことも印象深い思い出です。

また住民の皆さまとイベントで一緒にすると、あたたい眼差しで声をかけていただき、とても嬉しく感じています。地域の方々のやさしさや温かさに触れるたびに、東峰村で実習させていただけることのありがたさを実感しています。実習を通して、地域で暮らす方々に関わりながら「社会福祉士」として地域という場でどのような視点が必要なのか」を日々考えています。

東峰村の豊かな自然とあたたかな皆さまに囲まれて、多くの学びを得られることを楽しみに、これからの一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。



この広報誌は共同募金の配分金を受けて発行しています。

沖縄県大宜味村社会福祉協議会視察受入れ

8月6日（水）、沖縄県大宜味村社会福祉協議会の役員の方々が、とうほう百貨店の取組や、東峰村の買い物支援の状況について視察に来られました。

沖縄県には、「共同売店」と呼ばれる小売店があります。「共同売店」とは、沖縄県に見られる地域密着型の商店のことで、特に離島や農村部などの小さな集落で多く見られます。地域の住民たちが共同で出資・運営する形態が一般的で、地域コミュニティの中核的な役割を果たしてきました。最盛期には県内に約200軒あったとのことですが、交通の便が改善されコンビニなども出店し、現在では50軒ほどに減少しましたが、過疎と高齢化が進む地域では今も住民の暮らしを支えています。大宜味村内には現在6店舗ほどの共同売店が営業をされています。

また大宜味村社協では、東峰村で令和6年度に採択された農水省の「食品アクセス緊急対策事業」を今年度活用し、生協や農協など既存の事業者、自治体の買い物支援事業などが、バラバラに行われている状態を解消し、共同売店をラストワンマイルの地域拠点として活かす流通モデルに取り組みされています。

人口減少や買い物、移動の問題など同じ課題に直面している地域でしたので、有意義な意見交換ができました。



シニアクラブ連合会タオル配りで施設訪問

シニアクラブ連合会では、女性部を中心に毎年会員の方々の協力を得ながらタオルを回収し、村内の各施設にお配りしています。

今年度も、7月18日（金）に会員の皆様が協力して、380枚のタオルが集められましたので、会長・副会長・女性部長の方々に村内の施設5ヶ所（東峰学園、特別養護老人ホーム2ヶ所、保育園2ヶ所）へお配りしました。

毎年各施設の方々から「大変助かります」とお礼の言葉をいただいています。

※お配りした施設とタオル枚数

- ・特別養護老人ホーム宝珠の郷 78枚
- ・特別養護老人ホーム清和園 77枚
- ・東峰学園 75枚
- ・美星保育所 75枚
- ・小石原保育園 75枚



東峰村遺族会「福岡県戦没者追悼式」参列

令和7年8月15日 福岡武道館で「福岡県戦没者追悼式」が開催されました。

この追悼式は、先の大戦における福岡県出身の戦没者等を追悼し、御遺族をお慰めするとともに、世界の恒久平和を祈念するため毎年8月15日に福岡県主催で開催されています。東峰村からは遺族会より5名の方々が参列しました。

式では参列者で黙祷を捧げた後、県知事の式辞に続き、福岡県遺族連合会会長や遺族代表の方などによる追悼の言葉、参列者で献花を捧げました。



「心配ごと相談所」の開設について

- ・期日：令和7年10月8日（水）
- 時間：午前10時～正午まで
- 場所：喜楽来館
- ・期日：令和7年12月10日（水）
- 時間：午前10時～正午まで
- 場所：いすみ館
- ・相談に申し込まれる方々は、民生委員児童委員、人権擁護委員、行政相談員の方々です。また、司法書士の方にも相談に応じていただきます。
- ・相談は無料で秘密は固く守られます。
- ・詳しい開催内容につきましては、開催が近づきましたら東峰テレビでお知らせいたします。

10月1日から全国一斉に

共同募金運動が実施されます

共同募金運動は、昭和22年に全国一斉に始まりました。この共同募金運動は、その時々の社会的課題に対する配分を行いながら今まで継続して続いており、現在は、地域の福祉活動を推進するための財源等に活用しています。

- ・共同募金運動期間
10月1日から12月31日までの3ヶ月間です。
- ・共同募金運動の特徴
- ①民間性：共同募金運動は、民間の地域福祉活動を財源面で支えるため、住民の参加による民間の自主的な活動として行っています。
- ②地域性：共同募金運動は、都道府県の地域を単位として実施しています。

（福岡県で寄付されたお金は、災害の発生など特別な場合を除き、福岡県以外の県で使われることはありません。）

- ③計画性：共同募金運動は、その区域内の民間福祉活動を行う団体等からの要望をもとに配分計画を立て、その計画に基づいた募金活動及び配分を実施しています。
- ④公開性：共同募金運動は、住民の信頼のうえに成り立つものであるため、積極的に情報を提供しています。
- ⑤参画性：共同募金運動は、地域住民を始め、多くの関係者、理解と共感を得た募金ボランティア等の参画により推進しています。

福岡県共同募金東峰村支会におきまして、戸別募金をはじめ法人募金などの募金活動に取り組みますので、皆様方のご協力よりしくお願いいたします。



シルバークッキング教室の開催

シニアクラブとの共催事業として7月30日（水）長生会、8月6日（水）鶴窓会においてシルバークッキング教室を開催しました。

管理栄養士の床嶋純子先生をお招きし、フレイル（加齢に伴う心身の衰え）を防ぐために大切な食生活の講義を受けたあと、バランスのとれた献立を調理しながら、和気あいあいとした雰囲気の中で調理を楽しみました。



健康運動教室の開催

7月17日（木）に宝寿会、8月21日（木）に大原会、8月27日（水）に長寿会において健康運動教室を開催しました。原鶴温泉病院の理学療法士の方から「フレイル」とは何か、その予防や改善のために重要なポイント（栄養・運動・社会参加）についてわかりやすくお話しいただきました。椅子に座ってできる体操や筋力維持に効果的な動きなどを教えていただきながら楽しく学ぶことができました。



みんなの食堂「産土（うぶすな）」オープン

8月23日（土）、ボランティア団体・みんなの食堂「産土（うぶすな）」さんが、いすみ館で地域食堂を開催され、地域のあたたかさを感じる時間となりました。

当日は、みんな大好きなカレーライス、マカロニサラダ、フルーツカクテルといった豪華なメニューが振舞われました。

今回の食材、お米やにんじん、じゃがいも、玉ねぎは地域の皆さまからのご寄付によって用意することができました。また、カレールウはAmazon「ほしい物リスト」を通じて、ご支援いただいたものを使用させていただきました。

ご協力いただいたすべての方に、心より感謝申し上げます。

産土（うぶすな）とは、故郷という意味があり、この「うぶすな食堂」が、東峰村のみなさんの集いの場として活躍されていくことを願っています。みんなの食堂「産土（うぶすな）」は、誰もが気軽に立ち寄れる居場所を目指して、これからも継続的に開催していきますので、次回も今回以上に、たくさんの方々にお会いできることを楽しみにしています。



令和7年度 福祉用具セミナー・展示会

高齢者・障がい者の自立生活を支え、社会参加を促進するために、福祉用具・住宅改修の果たす役割は重要となっており、最新の福祉用具を体験し、福祉用具活用にあたっての導入、目的、住環境への理解を深め、安心・安全な暮らしを支援することを目的として開催されます。

- 【主催】福岡県介護実習・普及センター
- 【期日】令和7年11月6日（木）
10時30分～15時30分
- 【会場】クローバープラザ（春日市）
- 【対象】どなたでも参加できます
- 【参加費】無料

セミナー①（専門職向け）

介護保険における福祉用具活用の視点について
講師：渡邊 慎一氏

セミナー②（一般向け）

みんなで学ぶ、福祉用具の上手な活用術！
講師：湯脇 稔氏（日本福祉用具供給協会）

セミナー③（専門職向け）

介護ロボット・ICT機器導入の壁と乗り越え方
講師：齋藤 陽氏（株式会社 TRAPE）

セミナー④（一般向け）

就活のススメ

講師：伊勢田 篤史氏（とんりの法律事務所）
◆福祉用具展示会 12時～15時30分
約60社が参加し、最新の福祉機器を中心に展示します。

【申込URL】 <https://x.gd/o5GkE>

【お問合せ】062-584-3351